

安心して住みよい町に！

議会だより

ガウラ

寒さに
負けなれぞ!!



全国初 通年議会を — 4

町の定住対策に疑問 — 5 ▶ 13

どっついぞ！ 剣道部 — 14

No. 62

2013. 1. 30発行

1,600万円に



12月 定例会

定住対策に

一般質問集中!

こんなことを決めました (主な議案)

- * 町税賦課徴収条例の一部改正
寄付金の税額控除対象団体を新たに指定 (社会福祉協議会・シルバー人材センター・勝寿会)
- * 平成24年度一般会計補正予算 … 1億623万円
 - 町単農業振興補助金 …… 400万円
 - 土木施設災害復旧費 …… 1,700万円
- * 平成23年度一般会計決算認定
歳出総額 …… 34億2,693万円
- * 議員提出議案
「米国軍用機の低空飛行中止を求める意見書」ほか2件

12月定例会は5日から13日まで開かれ、条例改正1件、平成24年度の各会計補正予算4件などが提案され可決しました。
また、追加議案として中学校の備品購入契約、議員提出議案3件、9月議会において総務産建委員会に付託されていた平成23年度各会計の決算認定については、委員長から審査の報告があり認定しました。
一般質問には9議員が登壇し、遅れている定住対策について質問が集中しました。

議長
質問!



議案に質疑

一般会計補正予算に集中

- 中田町長**
野上産業交流課長
利活用の審議会を立ち上げ、農業振興も含めて検討したい。
- 野上産業交流課長**
野上産業交流課長
現在の工区については舗装し、通行しやすいように仕上げる。
- 節**
野上産業交流課長
東部広域農道の事業は、供用箇所舗装などを優先するのか、路線延長を重点とするのか。
- 野上産業交流課長**
野上産業交流課長
補助金の制度設計など、今後、検討したい。
- 国清**
野上産業交流課長
町単農業振興補助金が400万円補正され、1,600万円と大きな予算となった。今後増加が見込まれる統一ダンボール補助は別枠にすべきである。
- 川端**
野上産業交流課長
「道の駅」情報館の改修は、何のためにするのか。
- 野上産業交流課長**
野上産業交流課長
情報館西側は、風が吹き抜けとなっているので、ドア、窓などで壁を作るため改修する。
- 伊丹企画総務課長**
伊丹企画総務課長
周辺については舗装し、粉じりなどを防止。住民の理解が得られる運行に努めたい。
- 美馬**
野上産業交流課長
勝浦病院東のゲートボール場がドクターへの着陸基地となっているが、安全対策などは十分できているのか。

総務産建常任委員会

11月27日委員会を開催し、条例改正や補正予算などについて審議しました。

※どないしょん ジュースマシンの設置

問 道の駅情報館の改修が補正予算で計上されるが、昨年購入したジュースマシンの設置はどうするのか。

答 早く設置できるように検討する。



行き場のない？ジュースマシーン

どう対応する

救急患者輸送

問 救急患者輸送業務の接遇に対し、町民からの苦情が多い。改善策をどうするのか。

答 実態を十分に調査し改善する。

文教厚生常任委員会

12月定例会に向けての委員会を11月28日に開催し、補正予算など審議しました。

人形浄瑠璃

保管庫設置

勝浦座から町長に「木偶首・衣装・道具の保管庫建設費の要望書」が提出された。

人形浄瑠璃は大切な文化財であり、学校教育や伝統文化の継承、地域の活性化、地域の広告塔としての役割を果たしている。保管庫設置は「徳島地域創造戦略交付金事業」が採択となり、104万円を充当し、社会教育振興費補助金209万1000円を勝浦座に補助する。

久国の集会所に隣接、土地は勝浦座が借り受け維持管理も行う。瓦ぶき屋根木造平屋建ての保管庫である。



建設中の人形浄瑠璃保管庫

立川ごみ焼却施設解体

平成25年度から

休止している立川ごみ焼却場解体に向けて平成22年度から基金とし、毎年1500万円を積み立て目標の6000万円となっている。平成25年度から解体計画を立てていると報告があった。

年頭あいさつ

輝かしい新春を迎え
お慶び申しあげます



議長 大西一司

今年を議会改革元年と捉え、新しい議会のあり方を協議中で、全国初の「通年議会」をめざしています。

今後議員一丸となって町民の幸せのためガンバリます。本年もよろしくお願ひします。

勝浦町議会

少ない保育所入所者

早期の定住策の推進を

保育所民営化後2年を経過しようとしているが、少子化の影響もあり入所児童が大幅に減少している。

委員会に「みかん保育所」大和所長、「こすもす保育所」寺尾所長が出席し、状況説明と町の少子化対策、若者定住策の早期実現に期待をよせた。

改革元年

変わらなければ
変えれない!

町会議員で何やっとなで。選挙の時は「スピーカーで、なんやかんや、いがってくるけど、よう分からん」との声をよく聞く。現実に年4回の定例会一般質問、傍聴者はほとんどいない。議会だよりも読んでくれる人は「ごく一部では」と心配が絶えない。

全国的に「開かれた議会」、「議会改革」と言われ始めて久しく、勝浦町においても長年の懸案事項として、積極的に取り組んできた。

こんなことを変えました

- 議員定数の段階的削減（合併後の昭和34年20人から現在10人）
- 議員報酬の減額（現在199,500円）
- 一般質問を対面方式に（平成22年度から）
- 一般質問を一問一答方式に（平成22年度から）
- 一般質問の時間制限（制限なしから2時間に。さらに90分に）
- 議会広報モニターを選任（平成24年度から10人）

しかし町民の身近な議会として、まだまだ大きく変わったとは言えない。

そこで、議会改革に全国を駆け回っている新潟県立大学の田口一博先生を平成23年から講師にお迎えし、「さらに大きく変わろう」と全議員が研修を重ねている。



法改正後
全国初!

いつでも開いている「通年議会」

昨年、地方自治法の一部が改正され、「定例会・臨時会の区分を設けず、通年の会期とすることができる」となった。

「通年議会」は年1回町長が招集し、開会日を決めて1年間を会期として、議長権限でいつでも会議を開くことができ「スケジュール議会」とも言われる。このことによって専決処分や臨時議会もなくなり、議会関係事務の大幅な効率化も図れる。また、町民に議会日程をより早く知らせることができ、参加しやすくなる。

平成25年7月からの導入をめざしており、法改正による「通年議会」は全国初となるが、現在の委員会、議案審議のあり方など、今後大幅に見直す必要がある。

勝浦町議会では、新年を迎え「議会の改革元年」として、町民が参加しやすい開かれた議会に取り組んでいる。

河野道雄議員



南海トラフ大地震

本町の想定震度は 震度6強の見込み

(企画総務課長)

問 南海トラフ大地震や、活断層直下型地震が起こると大きな被害が予想されるが、本町の想定震度は、

また、町内の避難所は耐震基準を満たしているのか。

答 伊丹企画総務課長

本町の震度予測は震度6強となっている。

避難所50カ所のうち、耐震基準を満たしているのは30カ所である。

問 東日本大震災の教訓や南海トラフ地震を想定し、耐震基準の見直しは。

答 伊丹企画総務課長

国において、各地の震度や津波被害の想定が見直されたが、本町での耐震基準の見直しには至っていない。



改修されるゲートボール場（坂本地区）

坂本ゲートボール場 改修

問 坂本地区のゲートボール場は、高齢者の生きがい活動の場として多くの区民が使用している。

現在、ビニールハウスの休憩室はあるが、夏は暑く冬は寒いので改修を望んでいた。県の補助金を活用し改修できるようにしたが、内

容と着工時期は。

答 大西福祉課長 「徳島県地域ささえあい体制事業」で、高齢者の外出支援、閉じこもり予防を図る目的の補助金で、上限100万円である。

補正予算成立後申請し、交付決定後に業者を選定。年明け早々には着工できる見通しである。

ボランティア貯金を

問 高齢者が交通弱者となったときの手助けについて、対応が不十分である。

元気なときにボランティアで手助けし、活動時間を貯めておく。自分が支援の必要となつたときその貯めた時間を使って支援してもらおうという「ボランティア貯金事業」を取り入れては。

答 大西福祉課長 この事業は全国で2県が実施している。社会参加活動した者に対し、実績に応じて保険料負担を軽減するものである。

このような建設的な新しい発想は大変ありがたく、今後、研究したい。

地方交付税

法案遅れの影響は

本町への影響はない（伊丹企画総務課長）

山野忠男 議員



問 特例公債法案の遅れで地方交付税の決定が先送りされているが、本町への影響はないのか。

また、今年は中学校改築等で借入れが増えていると思うが、実質公債費比率の見通しは。

答 伊丹企画総務課長

法案が成立し、すでに現金交付されており、年末の支払い等業務執行には影響

ない。

実質公債費比率は、平成18年に23%と県下で一番悪かったが、財政健全化計画等が進み昨年の決算では8.2%となっている。

今後の見通しは、本年度の借入が昨年に比べ約50%増加しており、比率は少し上昇する予測だ。



みかんの品種改良を

温暖化対策

助成が必要と思うが。

また、統一段階ボールの助成と利用状況は。

答 野上産業交流課長

勝浦町の環境に適した高糖系の温州みかんの研究を今後も進めて行きたい。

23年度の統一段階ボールは4万6000箱で、46名の利用があった。

答 中田町長 冷房装置の

助成については、貯蔵庫の機能向上の観点からも検討して行きたい。

超小型車の普及に向けて

問 国土交通省は小回りがきき、運転しやすい超小型車の普及に向けて、来年1月から自治体が区域等を申請すれば公道走行を認める方針を決めている。高齢者の買い物や通院等に活用できると思うが、町の考えは。

答 小林副町長

超小型自動車は開発がはじまったばかりで、国土交通省においても本格普及に向けてさまざまな研究を行っている段階であり、今後の国の動向等を見守って行きたい。



自動車メーカーが開発を進める超小型車

美馬友子議員



教育に安心を

学校にスクールソーシャルワーカーを

学力向上、自立支援員として配置 (町長)

問 不登校やいじめなどの早期発見や、未然防止にマニュアルや行動指針はあるのか。

答 北島教育長 生徒指導リーフやマニュアルがあり、毎月学校長との会合で対策など協議している。教職員は毎週木曜日に研修している。

問 豊かな心を育むため、児童生徒の多様な悩みに支援対策としてスクールソーシャルワーカーを配置し、教育に安心が持てる町には。

答 北島教育長 スクールソーシャルワーカーとしてでなく、「学力向上、自立支援員」を25年度に配置できるように要望する。

答 中田町長 支援員を配置することで、不登校やいじめ問題にも対応でき、学力を支援することで不登校の発生も少しでも防げるのではないかと。県の制度も活用しながら子どもの健全な

育成に努めていく。

問 文部科学省では学校運営協議会制度を拡大しようとしているが、この仕組みを取り入れるのか。

答 小林副町長 「コミュニティスクール」と呼ばれ地域に支えられる仕組みではあるが、県内の実施状況は数校にとどまっている。その成果など見極めて行く。

武道館の開放を

問 勝浦中学校に新しくできた武道館を一般へ開放できないのか。

答 坪井教育委員会事務局長 計画段階から、社会体育としての活用を考えた管理のしやすい別棟にしている。中学校とも協議しながら開放に向けて取り組みを進める。

道路整備について

問 県へ強く要望している県道整備区域は。

答 中田町長

県道「徳島上那賀線」の横瀬橋柵野側、沼江バイパスの3期工事の間、新浜勝浦線の中山工区及び星谷から黒岩までの区間3カ所である。

問 柵野側の今後の改良予定は。

答 中田町長 地域の要望など聞きながら、県から現地を見に来てもらうようにしている。

問 高齢者や子供の安全のための歩道整備を。

答 柳沢建設課長 現在、生比奈小学校の西側で工事進行中である。また、新しく県道を改良する場合には、歩道整備を要望して行きたい。



一般への開放は
(武道館)

麻植 秀樹 議員



中角バイパスは どうなった

現在は考えていない（町長）

問 十数年前に中角区長より、町に対して児童、住民の安心・安全対策としてバイパスの陳情書を提出したと聞いているが、いまだ進展がない。町はバイパスの必要性をどう考えているのか。

答 中田町長 平成10年7月に、中角地区県道整備及

びバイパス建設促進の陳情書が出され採択されたが、地元の調整が十分できなかったと聞いている。

問 バイパスは、将来的に必要なのでは。

答 中田町長 現在は考えていない。



要望が出されていた中角バイパス

災害対策

監視モニターの 増設を

問 勝浦川の氾濫を監視するモニターが星谷橋の北岸に設置されているが、ほかの危険な箇所にも増設できないか。

答 伊丹企画総務課長 星谷橋は町内唯一の潜水橋で、一番低い橋である。洪水時には一番危険性の高い橋を監視の目安としており、増設は考えていない。



星谷橋の監視モニター

値上げ後の対応は

予防と検診の徹底を（税務課長）

森本 守議員



問 国保会計は3年間単年度赤字が続いている。値上げやむなしとの国保検討委員会の答申を受けて、国保税が大幅値上げされた。繰越金や予備費をもつと活用して、疾病予防や早期発見に努めるべきと意見が出されたが、対応は。

答 前田税務課長 予防と検診で、特定検診とがん検診を毎年受けてもらいたい。

省エネ対策

脳ドックも人数制限はあるが実施している。
また、新規事業として特定健診の保健指導対象者のうち、希望者に2次検診を実施している。
保険活動事業として、今年からK・フレンズに補助金を出して運動教室を開催している。「スマイル教室」と「ノルディックウォーク」が主な内容である。

問 各集会所に設置されているLED防犯灯は役目を果たしていないところが多い。どうなっているのか。



屋上に設置されている太陽光発電（横瀬小学校）

答 伊丹企画総務課長

すでに不良カ所のチェックは終わっており、本年度予算と新年度予算で対応する。

問 横瀬小学校の省エネ効果はどうなっているか。

答 北島教育長 平成23年と平成24年の1月から9月までを比較すると、使用量が481kwh少ない上に、778kwhを売電している。

職人技、技術の 伝承について

問 町工場から人工衛星が飛ぶ話を耳にする。技術者を育て伸ばし伝承していくことが町の宝となる。訓練や特許などに支援はできないか。

答 野上産業交流課長 国や県にテクノスクール等があり、町としての支援

もんでこい大作戦

問 結婚しない、できない若者が増えている。町内で結婚を計画している人に何か支援はできないか。

答 中田町長 いろいろ問題点もあるが検討して行く。

問 「もんでこい大作戦」として、町長を先頭にみんな「もんでこいよ」と声掛けのこだまを発信しよう。多くの先輩や友人に声を掛けられると人は気が変わる。嫁さん、婿さん、子供連れでもんでくれたらもつといい。勝浦町はいい町だと宣伝をして欲しい。

答 中田町長 早速、成人式や駅伝の挨拶でそうした言葉を発信して行く。

井出美智子議員



保育料無料化を

第3子、3歳児から

他の子育て支援策と併せて検討したい(町長)

問 第3子の3歳児保育料を無料化してはどうか。そのための予算はどのくらい必要か。

答 中田町長 子育て支援は大事なので、他の子育て支援策と併せて検討したい。
答 大西福祉課長 予算は57万6000円必要になる。

子育て支援センターの耐震化を

問 老朽化している子育て支援センターの耐震化計画はどうなっているのか。

また、高齢者も利用できる多面的な活用を検討してはどうか。
答 中田町長 昭和53年の建築で老朽化が進んでいる。高齢者対策など、多面的な活用を25年度中に検討する。



老朽化している子育て支援センター（沼江）

保育所

保護者の声を大事に

問 帽子やクレパスの購入、音楽教育のあり方について保護者から要望があるが、どのように対応するのか。
答 大西福祉課長 保育所と保護者の話し合いを通じ、双方が納得いくようにする。

阿南方面の通学支援を

問 スクールバスの運用を広げて、阿南方面へ朝、夕1便だけでも運行して欲しいとの要望が強いが、どうするのか。
答 坪井教育委員会事務局長 朝、横瀬小学校で下車してから、阿南の高校の登校時間に間に合わせるの無理なので難しい。



阿南方面にスクールバスを

役場の耐震化は

診断予算を計上（町長）

部 公一議員



問 平成24年度で学校の耐震化は全て終わるので、次は公共施設の耐震化に取り組む必要がある。

中でも役場庁舎の耐震化は、職員や来訪者の命を守るとともに、万が一災害が発生した時の対策本部の拠点となる施設であり、優先すべきでないか。

また、代替施設となる改善センターの機能整備も検討すべきでは。



25年度に耐震診断

答 中田町長 防災の拠点となる役場庁舎の耐震診断を、来年度の当初予算に計上したい。

補強、改修については診断結果が出てから判断する。改善センターには、代替施設としての機能を備えていないので整備を十分検討する。

残土処理場の確保を

問 防災工事や道路などの社会資本整備、災害時の復旧を迅速に行うためには残土処理場が必要である。

町が利用できる残土処理場の現状と認識は。

答 柳沢建設課長 現在、県営の残土処理場は2カ所あるが、1カ所は浸透水の調査中で使用できておらず、もう1カ所も進行中の工事ではないので。将来的には残土処理場は必要と認識している。

問 残土処理場を整備するには用地買収や排水設備に費用を要するが、工事残土の運搬費が大幅に削減でき、期間も短縮される。

また、造成して有効活用を図れば、一石二鳥、三鳥が考えられるので取り組むべきでないか。

答 中田町長 工事残土の運搬費が非常に高く、削減することにより事業の進捗

よくを図って行くために検討を重ねているところである。

若者定住対策

問 今年度、若者定住対策の事業は殆ど進まなかったが、町の住環境の良さや、充実した子育て支援策などの情報を町外へ向けてもつと発信すべきでないか。

答 小林副町長 県と市町村が共同した「徳島ふるさと回帰推進協議会」に参加しており、県外でのイベントを活用して町をPRしたい。

町外の住宅メーカーへも、町の有利な制度の情報提供が有効と考えるので検討して行く。

その他の質問

○いじめ・不登校・学力向上対策。

川端雅夫議員



定住対策

年次計画を立てては

長期計画は難しい（町長）

問 業者が土地を造成し住宅を建てた後、入居者に対して最高2万円の家賃を補助するとのことであったが、業者からの問い合わせは。

答 伊丹企画総務課長

建設業者は、助成、支援維持管理費や金融機関からの借り入れなど懸念材料があり合意できていない。また、入居者の予想が少なく、「採算性が低い」との意見であった。

問 定住対策は3年をめぐると言うが、なぜ年次計画を立ててしっかり取り組まないのか。思い切った施策をしなければ10年後の人口は5000人を割るかも知れない。取り組みが甘いのでは。

答 中田町長 定住策については、子育て支援などの環境整備があり、長期計画は難しい。

今後、町内外の業者と協議しながら、より良い方法を見つけて行きたい。

沼江バイパス

県の真意は

現道拡幅の方針（副町長）

問 9月の県議会の答弁では「幅員が狭く支障を来している区間の整備手法について、さまざまな角度から検討して行きたい」とのことであったが、沼江バイパス3期工事について県の真意は。

「幅員が狭く支障を来している区間の整備手法について、さまざまな角度から検討して行きたい」とのことであったが、沼江バイパス3期工事について県の真意は。

答 小林副町長 建設工事費や費用対効果等の問題が

あり、現道拡幅の方針は変わっていない。

問 沼江、石原街道は「日亜道路」と言われるくらい日亜化学の通勤車が多い。日亜化学は毎年県に10億円寄付をしている。一度社長と面談して現況を説明し、協力を得られるよう努力してはどうか。

日亜化学は毎年県に10億円寄付をしている。一度社長と面談して現況を説明し、協力を得られるよう努力してはどうか。

答 中田町長 どんな話になるかわからないが、いろいろ考えながら行きたい。

ジェネリック薬品使用

問 ジェネリック薬品を使用するのは、外来患者の自己負担軽減のためなのか。町の医療費抑制のためなのか。

また、勝浦病院にとって経営的にメリットはあるのか。

答 前田税務課長 ジェネリック薬品は医療費抑制のため、国が使用推進をしている。

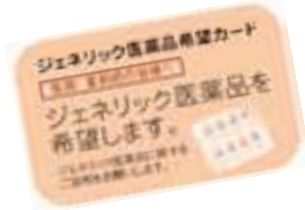
町も薬代が節減できれば医療費の抑制になり、患者も自己負担の軽減になる。

答 松本病院事務局長

ジェネリック薬品は価格がかなり低く抑えられているので、先発医薬品を使用する方が収入的にメリットが大きい。



沼江バイパス3期工事の推進を



安心とは言えない町

早く消防常備化を

重要であり進めて行く(町長)

国清一 治議員



問 町の総合計画や町長の所信表明で、「安全・安心」を一番に掲げているが、現状を見ると、とても安心な町とは言えない。

特に生命・財産を守る消防組織が非常備で、高度な機能・体制がない。常備消防のように「救急車」を持たず「救急患者輸送車」で運行しており、問題も多く出ている。

また、必ず起きる「南海



早く消防常備化を

トラフ大震災」にも十分対応できないと消防団も危惧しており、6月定例会において早期の常備化を質問したが、その後の対応はどうなっているのか。

答伊丹企画総務課長
現在、那賀町は単独

で救急体制を構築しているので、調査・研究している。

答小林副町長 常備化は町民の生命・財産を守るために欠かすことはできない。課題もあるが、早く進めて行きたい。

答中田町長 町の総合計画の中でも重要課題と捉えており、消防体制の常備化に向けて進めて行く。

対応を協議したのか。

答大西福祉課長 「地域ケア会議」は、新年度に入り開いていない。年内か年明け早々に開き、対応を検討したい。

問 町は、「交通弱者」について総合計画、高齢者計画でも大きな課題として捉えており、移動手段がなく、高齢者が家にこもってしまふことは「動かない」、「話さない」で寝たきりや認知症の原因にもなる。

町で送迎車を用意するなど二にズに定めるべきだ。新年度に向けての具体策は。

答中田町長 高齢者の移動手段確保として、全国的にはデマンドバスなどの例があるが、勝浦町にとってどの方法がいいのか検討し、取り組みたい。

■その他の質問

○事務・事業と予算

どこーじゃ行けん

町民の足を確保

勝浦町的に取り組む(町長)

問 おじいちゃん、おばあちゃんが「車がない、どこーじゃ行けん」とよく聞く。高齢者のアンケート調査でも移動支援を求める声が非常に多い。「交通弱者」、「買

い物難民」とも言われる高齢者が急増している。このような状況の中、関係団体対等の会議を開き、

こっぴど! 勝中クラブ活動

剣道部

木の香り漂う新設された武道館に、気合いの入った声が響く。剣道部は部員数10名、全員が1年生。



武道館に響く
「メン」～
「ドウ」～
「コテ」～

* 剣道部に入ったきっかけは？
父親が柔道をやっていたので、同じ武道の剣道を選んだ。
* 目標は？
試合の勝負も大事だけれど、一月末に昇段試験があるので、受かりたい。



■ キャプテンの
福田真由さんに
インタビュー



中西ひとみ先生



中西 廣 吉先生

顧問からのメッセージ

部員は新しい武道館でノビノビと練習している。剣道は勝負も大切ですが、伝統や礼儀作法を十分身につけてほしい。



全員集合、ハイポーズ!

剣道部 メンバー紹介 (敬称略)

- | | | | | | |
|-------|------|------|------|------|---------|
| 山野裕太郎 | 川崎翔太 | 幸山晴輝 | 豊井啓介 | 山本大輔 | (上段右から) |
| 柴野顕豊 | 山西瑞季 | 福田真由 | 竹村友里 | 藤本陸斗 | (下段右から) |

編集後記

キーワード”何“

先月、3年3カ月ぶりに総選挙が行われたが、戦後最低の投票率となったのは残念である。

それにしても、一昨年2月に最高裁で「違憲状態」と指摘され、長い間解決できなかったのに、「解散」を条件にすると、たった2日で決まるのは、何“ひだろう”。

「解散」のためなら、何“でもあり”というところか。

”何“はさておき、国民は、”何“と”かして政治を前に進めてもらいたい”と思ってる。

財政危機を改善して行くために、私たちも、”何“もかも求めるのではなく、”何“かを我慢して、次の世代へバトンを渡さなければならぬ。

(公一)

